

山陽病院

肥満やメタボを指導・治療

多職種連携でサポート

(医)辰川会山陽病院(福山市野上町2-8-2、辰川匡史理事長)は3年前から、生活習慣病の予防のために、肥満やメタボリックシンドローム、生活習慣病予備軍と診断された人に対して、多職種連携を生かした指導・治療を行なっている。また昨年から自費診療でダイエット効果が期待される薬剤の治療も開始した。いずれも初回は辰川匡史理事長(内科医)Ⅱ写真による内科診療を受けることとなる(要予約)。

服薬をせず、体重減少によって改善できる生活習慣病は多いが、ただ「痩せてくださいね」と医師が告げるだけでは体重を減らすことはなかなか難しいのが現状である。生活習慣や食生活、体質などにより一人一人の要因も異なるため、まずは体成分分析器(JO353)を活用し、体の水分量や体脂肪量・筋肉量を計測し、基礎代謝・筋肉量のバラン



ス、部位別の筋肉・脂肪量などを詳しく分析する。

さらに公認心理師のカウンセリングで生活習慣や食行動、運動習慣から肥満の原因を探り、最適なダイエット方法を提案。管理栄養士による栄養指導、健康運動指導士による運動指導も併せて、多職種連携でより効果的なダイエットを目指す。

昨年からダイエット効果が期待できるSGLT2阻害薬を導入。本来は糖尿病の治療薬だが、腎臓に作用し、血液中の糖分を尿に移行させることでカロリーオーバーを防ぐ作用を、ダイエットに転用して処方する(自費診療)。効果判定と副作用をチェックするため、採血や検尿、体成分分析器の計測を定期的に行い、安心・安全にも配慮。「日常的に運動しているのにやせない」「会食が多い」という人には特に効果が期待できるという。

辰川会グループは1978年の開業以来医療と介護の確かな連携を基に切れ目のないサービスを実現するため、コミュニケーションの実践に力を入れている。同院は外科・内科・泌尿器科・整形外科、リハビリテーション科の五科と人工透析を実施する。

問い合わせTEL084・923・113
3山陽病院